

市長、臨時議会で表明



昨年3月、市長から突然「環境センターの更新を最重要課題として、検討開始する」という表明を受けて、1年あまり。議会としても「特別委員会」を設置して、施設の規模、処理方法、環境保全についてなど議論してきましたが、判断の難しい建設場所の選定について、18日に開催された臨時議会で、市長から「現敷地を候補地とする」との表明がありました。翌日には新聞各社、有線放送でも報道。このことに対し、「なぜ一方的に決めるのか」「現地は納得していない」などの声が寄せられています。

「一方的な決めつけはやめて」

老朽化してきた環境センターの更新方法を議論してきた守山市と守山市議会。「どこに建て替えるのか」という最も難しい懸案について、宮本市長は突然、しかも臨時議会で「今の場所を建て替え候補地とする」ことを公式表明しました。前日に開かれた特別委員会でも、「拙速すぎる」との指摘があり「臨時議会で表明すべきではない」など議員からの指摘がありました。18日の臨時議会、予定されていた2つの議案を提案する前に、「環境センター更新場所について、現敷地を候補地とする」ことを表明しました。このことについて、2人の議員が緊急質疑をしました。住民同意を大原則に進めるべき課題。市民からは「回覧板で『今のところ』

小牧一美議員の臨時議会での緊急質疑

〈問〉自治会長と役員はもちろん、住民すべてを対象に、理解を求める努力が必要ではないか。住民への説明はどのように行われてきたのか。

〈市長〉候補地の選定は市内全域を対象に、一次選定、二次選定と段階的に比較検討をするなか絞り込んできた。苦渋の選択として「環境センター敷地」を新しい施設の建設候補地とすることとした。

〈問〉住民への説明が十分で、合意形成も図られていないのに、本日の臨時議

会で「現敷地を建設候補地とする」と表明されたことは、拙速すぎるのではないかと。昨日の特別委員会でも疑問が出された。なぜ、いまこの臨時議会での表明なのか。

〈市長〉地元には5月27日に市の意向をお伝えした。今後、地域の皆さまと膝を突き合わせて議論する上で、今が市民に公表するタイミングと考え、今臨時議会での表明となった。

〈問〉当時の建設にあたって守山市との約束が不履行だったことや、駅周辺市

街地と北部地域との活性化施策に対する不公平感など、市民の思いに向き合うことが必要。納得と合意のもとに事業をすすめるのが、将来に禍根を残さない最大の力。住民の思いにしっかりと向き合い、その願いに寄りそう努力が大事ではないか。

〈市長〉今後、周辺住民の皆さまの思いをしっかりと受けとめながら、さらにお気持ちを大切にしながら、誠心誠意、真摯な姿勢で協議させて頂きたい。

今後、すべての市民の皆さんに対する説明と積極的な議論が必要です。
多くの皆さんのご意見をお寄せください。

大事なことは、納得と合意

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
<http://komaki-jcp-web/>

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466